

入院診療計画書（IAP療法を受ける患者さまへ）

ID番号
病名（他に考える病名）

@PATIENTID

氏名

@PATIENTNAME

様

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

号室

担当医師

@USERNAME

印

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名

@SYSDATE

月日	/	~	/	/	/	/	/	/																		
経過	入院 入院日（化学療法当日）～化学療法5日目				化学療法6日目		化学療法7日目		入院8日目	退院																
目標	入院 安心して化学療法が受けられる。				副作用について理解できる。				退院できる。																	
検査 測定	■化学療法前に外来または当日に採血があります。 ■点滴開始時から尿量を測ります。 ■1つめの抗癌剤（イホマイド）が終了したら尿PHを測ります。				■尿量測定を続けてください。 ■記入する用紙がなくなった場合は看護師に知らせてください。				■本日の朝6時で尿量測定は終了です。																	
注射	輸液 <table><tr><td>吐き気止め 15分</td><td>腎臓保護の薬</td><td>イホマイド 2時間</td><td>尿PH補正の薬</td><td>腎臓保護の薬</td><td>シスプラチン 2時間</td><td>補液 2時間</td><td>腎臓保護の薬</td><td>補液 5分</td></tr></table>				吐き気止め 15分	腎臓保護の薬	イホマイド 2時間	尿PH補正の薬	腎臓保護の薬	シスプラチン 2時間	補液 2時間	腎臓保護の薬	補液 5分	輸液 <table><tr><td>吐き気止め 15分</td><td>シスプラチン 2時間</td><td>補液 5分</td></tr></table>		吐き気止め 15分	シスプラチン 2時間	補液 5分	輸液 <table><tr><td>吐き気止め 15分</td><td>ドキシソルピシン 5分</td><td>シスプラチン 2時間</td><td>補液 5分</td></tr></table>		吐き気止め 15分	ドキシソルピシン 5分	シスプラチン 2時間	補液 5分	点滴は特にありません。	
吐き気止め 15分	腎臓保護の薬	イホマイド 2時間	尿PH補正の薬	腎臓保護の薬	シスプラチン 2時間	補液 2時間	腎臓保護の薬	補液 5分																		
吐き気止め 15分	シスプラチン 2時間	補液 5分																								
吐き気止め 15分	ドキシソルピシン 5分	シスプラチン 2時間	補液 5分																							
観察	■体温、脈、血圧測定をします。 ■抗癌剤開始後、5～10分程度、7ml/h-症状がないかを観察します。 ★点滴の針が入っているところが痛んだり、腫れてきたりしたらすぐに看護師を呼んでください。				■検温があります。気分が悪いときには看護師に声をかけてください。 ★点滴の針が入っているところが痛んだり、腫れてきたりしたらすぐに看護師を呼んでください。																					
内服	■内服中のお薬があれば普段通り内服して下さい。 ■治療当日は吐き気止め（アプレピタントカプセル125mg）を治療の約30分前に内服します。2～5日目の吐き気止め（アプレピタントカプセル80mg）は朝食後に内服になります。				■内服しているお薬があれば普段通り内服してください。																					
食事	■特に食事の制限はありません。嘔気予防のため腹8分目に抑えておくといいです。 ■病院の食事内容を変えることもできます。ご希望の方は看護師に相談してください。																									
行動	点滴が入っているときは… ★点滴の管を引っ張ったり身体の下敷きにならないように注意しましょう。 ★気分が悪いときは一人で行動せず、看護師を呼んでください。																									
説明	看護師から入院生活について説明があります。 治療中、治療後の注意事項について説明します。 医師や薬剤師から化学療法の方法や副作用について説明があります。				看護師から退院後の生活について説明があります。		退院時には □退院証明書 □次回予約票 □退院処方（必要時） を受け取ったことを確認してください。																			

注1）病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2）入院期間については現時点で予想されるものです。

注3）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

<退院後の生活について>

・人ごみを避け、外出時はマスク着用しましょう。また、手洗いうがいをし感染予防を心がけましょう。

・抗癌剤治療の影響で免疫力が下がると口内炎ができたり、お口の中が荒れる場合があります。食事のあとは歯磨きをし、お口の中の清潔を保ちましょう。

・治療の副作用で便秘になりやすいです。水分をこまめに摂り、食物繊維の多い食事を摂るように心がけましょう。

以下のことがあれば、我慢せずにお電話ください。

・38度以上の熱が続く。

・嘔吐や吐き気が続き、食事・水分を摂るのが困難。

・便秘や下痢が何日も続く。

・痛みが強くなってきた。

……など

婦人科外来 024-547-1226

みらい棟4階東病棟

024-547-1629

特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無
-------------	-----------------

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：	続柄：
-----	-----